

切磋琢磨Ⅱ

校長室だより

R1.11.15 第26号

6年生って「すごいんだ!」2

～道徳授業・会場づくり 他～

6年生の活躍ぶり、まだまだあります!

25号では書ききれませんでしたので、本号でも続けて6年生の活躍ぶりを紹介します。

本校では、水流先生が道徳教育推進教師として、道徳教育をけん引しています。そして、道徳教育を教育目標の「徳」の中心に据えて、全校で取り組んでいます。

11月1日に、豊橋市の代表として、6年2組が道徳の授業を披露しました。道徳の授業を独立させるのではなく、各教科・総合的な学習の時間・修学旅行や本陣まつりなどの学校行事・係 & 委員会活動等と連動させて、「みんなのために真心をこめて」という総合単元を組んで授業を行いました。この日の主題は「真の思いやりとは」です。



水流先生と2組の子どもたちの授業を参観したたくさんの先生方から、

- ①全員が発言したこと
- ②息の長い発言ができたこと
- ③友だちの考えを聞き、それに絡めて自分の意見を述べたこと
- ④友だちの意見に素直に反応しているところ
- ⑤黒板に書きながら説明していたところ



など、授業を通して子どもたちの素晴らしいところをたくさん発見していただきました。

道徳では、「よりよく生きるため」に自分を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を進めています。水流先生の授業を通して、我々教員もたくさんのことを学びました。これからの本校の道徳教育の充実につなげていきたいと思えます。

わくわく発表会は自分達で

6年生にとっては、今年が小学校最後の「わくわく発表会」となります。本陣まつり明けの水曜日に、体育館の舞台づくりを6年生が行いました。手際よく、迅速に会場づくりができました。ここでも6年生の素晴らしさが発揮されました。

行事や授業は子どもたちが自らの手で創るものだと考えています。この「わくわく発表会」に向けて、どの学年も自分達で考え、工夫して創り上げていきます。どうしたら、自分達の思いを観客に伝えることができるか。すべての学年が自分たちの頑張りや思いを伝えようと、今一生懸命練習に励んでいます。当日は最高のパフォーマンスをお見せします。

中村圭琳さん、豊橋の代表として中国に

本年度から、豊橋の小学校海外派遣が再開し、新たに中国南通市との交流が始まりました。その使節団の一員として、本校6年生の中村圭琳さんが、中国を訪問してきました。中国の人々とふれあい、たくさんの体験を通して日本との文化のちがいを学びました。後日、皆さんにその体験談を話す機会がありますので、楽しみに!

小野凧紗さん 愛知県賞を獲得

愛知県明るい社会づくり作文コンクールで、6年生の小野凧紗さんが、愛知県賞(CBCテレビ賞)を受賞しました。応募数はなんと約5000。作文を読ませてもらいましたが、凧紗さんの素直な気持ちや人柄が伝わってくる素敵な作文でした。凧紗さんにも、作文を披露してもらう予定です。こちらもお楽しみに!